

# 公開セミナー 北極海航路をめぐる最新研究

主 催：北極域研究共同推進拠点 J-Arc Net<sup>1)</sup>、ArCS 北極域研究推進プロジェクト<sup>2)</sup>  
日 時：2017年3月10日(金)、13:00-17:00、参加費無料  
会 場：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター カンファレンスルーム 218  
東京都中央区八重洲 1-2-16 TGビル本館 2F

## 第1部：北極をめぐる世界： 13:00～14:15

- ① 日本の北極研究：J-Arc Net および ArCS の取り組み：発表者調整中
  - ② 北極をめぐる新たな国際関係：大西富士夫（北海道大学）
  - ③ 北極海航路の現況とゆくえ：大塚夏彦（北海道大学）
  - ④ 北極圏の石油・天然ガス開発のゆくえ：本村真澄（JOGMEC）
  - ⑤ 北極から運ばれる LNG～ヤマル LNG：近藤良和（株式会社 商船三井）
- <14:15-14:30、休憩>

## 第2部：研究報告： 14:30～16:00

- ① 衛星リモートセンシングによる氷厚の観測：舘山一孝（北見工業大学）
  - ② 北極海航路の海水予測技術：木村詞明（東京大学）
  - ③ 北極海航路における最適ルート探索システム：矢吹裕伯（国立極地研究所）
  - ④ 北極海の波浪特性：早稲田 卓爾（東京大学）
  - ⑤ 北極海航路の航行速度と海水条件：大塚夏彦（北海道大学）
  - ⑥ 質疑：15min
- <16:00～16:15、休憩>

## 第3部：さらなる取り組み： 16:15～17:00

- ① 北極航路上の気象予測の展望：猪上 淳（国立極地研究所）
- ② 北極航路商業利用に向けた研究課題：山口 一（東京大学）
- ③ 学際的研究の推進～総合的な北極研究に向けて：田畑伸一郎（北海道大学）

### ◆ 申 込（先着順 60 名様まで）：

お名前・御所属と御職位・メールアドレスをご記入の上、下記まで E-mail にてお申込みください。  
arctic\_japan@yahoo.co.jp

### ◆ お問合せ：

上記お申し込み先または北海道大学北極域研究センター 大塚夏彦(natsuhiko.otsuka@arc.hokudai.ac.jp)

1) 北極域における環境と人間の相互作用の解明に向けた異分野連携による課題解決に資する先端的学際的共同研究等を推進し、北極域の持続可能な利用と保全に関する新たな学術領域の創成を促すことを目的として、北海道大学・国立極地研究所・海洋研究開発機構の連携により設立された。(http://j-arcnet.arc.hokudai.ac.jp/outline/)

2) 文部科学省の補助事業として、国立極地研究所、海洋研究開発機構及び北海道大学の3機関が中心となって、2015年9月から2020年3月までの約4年半にわたって実施する、我が国の北極域研究のナショナルフラッグシッププロジェクト。(http://www.arcs-pro.jp/about/index.html)